



むさしだい

学校だより 2月号
令和6年1月31日
中野区立武蔵台小学校
校長 若菜 康史

「人を良くする『食』」について

ふくこうちょう やまもと よしこ
副校長 山本 佳子

私が「小学校の先生になりたい。」と思ったのは、小学校1年生のときです。1年生のときの井端 静先生が大好きで、小学校の教員を目指しました。それ以外にも、「友達と遊ぶのが楽しい。」「先生や友達の話聞くのが面白い。」などもあります。実は「給食がおいしい。」と言うのが、小学校の教員になった一番の理由です。



私が大好きな給食メニューは、「ほうとううどん」です。みなさんはどうですか？

私が小学生の頃比べると今の給食は本当に手が込んでいて、種類も多く、とてもおいしいです。本校の森田栄養士が考える献立は、私も初めて食べる物が多く、あっと驚くおいしさで毎日が楽しみです。森田栄養士は何か新しい料理が思い浮かぶと、可能な限り挑戦するそうです。失敗してしまうこともあるそうです。でも諦めず成功するまで挑戦するから、おいしい献立ができるのだと思います。ぜひ武蔵台小学校全員で、いっぱい食べて食缶を毎日空にしたいなと思います。ちなみに、毎日残菜調査をしています。

12月の残菜 1日平均3.7%

一番多い日は6.9%(ごはん6.1%、豆腐ハンバーグ0.5%、

スティックサラダ10.3%、青菜とコーンのスープ10.8%)

好きなものだけでなく、苦手なものも一口は食べてほしいです。

一番少ない日は2%(五目わかめラーメン

2.9%、北の大地ポテト1.1%)

パン、めんの日には残菜が少ない傾向にあります。

もちろん食べることを無理強いません。気持ちよく食べられる量を食べるよう指導しています。

今年度も昨年度同様、給食試食会を実施することができました。新型コロナの流行で2年間実施することができなかったためです。参加された保護者の皆様は、こんな感想をよせてくださいました。

調味料はそんなに使用していないのに、だしや素材の味が出ていてとてもおいしいので驚きました。

野菜も一つ一つ丁寧に切り、下ごしらえをしているのでありがたいと思います。

子どもが「とてもおいしいから家でも作って」と給食に出たメニューをリクエストしてきます。

「食」という字は、「人(ひとやね)」に「良」という字を組み合わせた字です。「食べる」ことは、「人を良くする」という意味を表しているようで、とてもよい字だなと思います。

また、「私たちの体は全て、自分の口から食べた物でできている」、とも言われます。このことも本当にそのとおりだと思います。野菜も魚も肉も米も、全て生きています。そんな多くの命をいただきながら、私たちは大きくなったり、生活したりできるのだと思います。

大人になると好きなもの、調理しやすいもの、温めれば食べられる出来合のものに偏りがちですね。成長が終わり体が完成している大人と、成長過程にある子どもとは、大きく異なります。

お子さんが口にするものは、できる限り、おうちの方の手作りのもの、なるべくたくさんの種類の食材を使っていたけるとよいと感じています。お忙しいとは存じますが、よろしくお願いいたします。

